



第2期フォトアーキペラゴ写真学校修了作品展

PHOTO ARCHIPELAGO 2017

写真を通して自分と世界との関係を見つめ、みずからの作家性を切り拓く。その学びの場として始まった写真学校の第2期受講生による作品展です。講師である写真家・石川直樹の作品も展示します。

2017 7.23 (日) → 30 (日)

香川県文化会館
県民ギャラリー(2階)

入場
無料

第2期フォトアーキペラゴ写真学校修了作品展

PHOTO ARCHIPELAGO 2017

【会期】2017年7月23日(日)～7月30日(日)

【時間】9:00-17:00(最終日は15:00)

【会場】香川県文化会館 県民ギャラリー(2階)
香川県高松市番町1丁目10-39

【主催】一般社団法人

フォトアーキペラゴせとうち

<http://school.photo-archipelago.com/>
school@photo-archipelago.com



「フォトアーキペラゴ写真学校」とは

2015年の春に香川県高松市でスタートした、写真家・石川直樹による写真学校。全10回にわたり、写真史などの講義や、写真集のレビュー、ゲストレクチャー、ポートフォリオレビューを行い、参加者それぞれが持っている「写真家としての考え方」を育ててきた。2017年秋から第3期がスタートする。



石川直樹/1977年東京生まれ。人類学、民俗学などの領域に関心を持ち、辺境から都市まであらゆる場所を旅しながら、作品を発表し続けている。『NEW DIMENSION』(赤々舎)、『POLAR』(リトルモア)により、日本写真協会新人賞、講談社出版文化賞。『CORONA』(青土社)により土門拳賞を受賞。水戸芸術館で開催した大規模な個展『この星の光の地図を写す』が国内数カ所の美術館に巡回中。